



\*明るく・楽しく・すこやかに……

## 地区ぐるみで築こう健康のまち

重がたりないそうだ」「血圧が：」  
採血から解放され、ホッとした気持ちと、採血できなかつた心配とが交錯して、その顔色は、いくぶん青ざめています。

移動採血車「わかしお号」は、手持ちぶさたのていで、次の採血者を待ちあぐんでいます。「なぜ献血できる人がこんなに少ないのだろう」「ほんとうの健康体ではないのだろうか」。そんなつぶやきがあちこちで聞かれました。「一度徹底的に調べてもらおう」これが一致した意見でした。

さつそく町役場を訪れ、「べき地巡回診療」を行なつていただきました。「詳しく調べてみなければわかりませんが、食生活と寄生虫、労働過重が原因ではないでしょうか」これが担当医の言葉でした

「まず食生活の改善が第一でしよう。寄生虫の駆除は検便と手洗いの励行で解決できますが、個々はらばらでは徹底した活動はできません。組織的に動けるよう検討してください」という

保健所長さんの言葉で、地区ぐるみの運動を起そうと、その年の九月、全住民を対象とした志賀地区衛生自治会を結成し、本格的な衛生活動になりました。

まず、部落のすべての人が健康新帳の交付を受け、予防注射や各種検査の結果、体重・血圧の数値を記入して、自分の健康に関心を持つとともに、保健所の栄養士さんにお願いして、栄養料理講習会を開き、地区ぐるみで、バランスのとれた栄養を心がけてきました。

衛生研究会も、月を追つて参加者が多くなり、今まで、まったく無関心に過ごしてきた事柄が、私たちの健康にこんなに深い関係を持つていることに驚き、検診や検査には、すすんで参加してくれるようになりました

### 写真は

「富士美会」=海南市藤白南33世帯=が結成されたのは6年前、42年に市長表彰を受け、蚊とハエのいないまちをめざして、月始めの清掃と週1回の薬剤散布がきょうも続けられています。

皆さんも自分のまわりをもう一度ながめ回してください。ちょっとお

明るく楽しい表情にみちあふれてお

た暗さは影をひそめ、蚊とハエもすくなくなり、自然の景勝に包まれて

「比重が低いんですって：」「体重がたりないそうだ」「血圧が：」以前は、「住みよい生活環境」と持ちあぐんでいます。「なぜ献血できる人がこんなに少ないのだろう」「ほんとうの健康体ではないのだろうか」。そんなつぶやきがあちこちで聞かれました。「一度徹底的に調べてもらおう」これが一致した意見でした。

移動採血車「わかしお号」は、手持ちぶさたのていで、次の採血者を待ちあぐんでいます。「なぜ献血できる人がこんなに少ないのだろう」「ほんとうの健康体ではないのだろうか」。そんなつぶやきがあちこちで聞かれました。「一度徹底的に調べてもらおう」これが一致した意見でした。

さつそく町役場を訪れ、「べき地巡回診療」を行なつていただきました。「詳しく調べてみなければわかりませんが、食生活と寄生虫、労働過重が原因ではないでしょうか」これが担当医の言葉でした

「まず食生活の改善が第一でしよう。寄生虫の駆除は検便と手洗いの励行で解決できますが、個々はらばらでは徹底した活動はできません。組織的に動けるよう検討してください」という

保健所長さんの言葉で、地区ぐるみの運動を起そうと、その年の九月、全住民を対象とした志賀地区衛生自治会を結成し、本格的な衛生活動になりました。

まず、部落のすべての人が健康新帳の交付を受け、予防注射や各種検査の結果、体重・血圧の数値を記入して、自分の健康に関心を持つとともに、保健所の栄養士さんにお願いして、栄養料理講習会を開き、地区ぐるみで、バランスのとれた栄養を心がけてきました。

衛生研究会も、月を追つて参加者が多くなり、今まで、まったく無関心に過ごしてきた事柄が、私たちの健康にこんなに深い関係を持つていることに驚き、検診や検査には、すすんで参加してくれるようになりました

私たちが、いまもつとも力を入れているのは、蚊とハエの駆除です。

以前は、「住みよい生活環境」と町が提唱する「蚊とハエの駆除運動」にも、「山地だから：」「田んぼに

かこまれているから：」と、なれば

あきらめ顔で、積極的な活動を行な

わなかつた地区ですが、いまでは、

蚊とハエは衛生の敵とばかり、地区

ぐるみで駆除にのりだしています。

自分たちの健康は自分たちの手

で」を宣言葉に、「明るい生活づく

り」をめざして立ちあがった私たち

志賀地区は、貧しさと生活に追われ

た暗さは影をひそめ、蚊とハエもす

くなくなり、自然の景勝に包まれて

# 建設するも「紀の川用水」

## 紀伊平野に近代化の水

水キキンに悩む農業地帯に、人工の川をつけて、生産基盤を整備する—それが、農業用水事業です。

いま穀倉紀伊平野では紀の川の水を利用す「紀の川用水」が、建設六年目を迎え、紀南では、南部川、日置川の水を利用する「紀用水」が計画されています。

紀伊平野にある從来の用水路は、そのほとんどが、平野の低地部に設けられており、平野全体の六十割、約七千五百ヘクタールをうるおず能力しかありません。

この四十割の耕地に紀の川の水をつくるおすと、これが田はため池と天水に依存するしかありませんでした。

この四十割の果樹園や水路は、そのほとんどの仕上げを行ないません。

この国営の幹線水路の工事と併行して、県営と團体営で最後の仕上げを行ないます。

三十の團地に分け七十二カ所に揚水機を設置し、そ

れで最後の仕上げを行ないます。

橋本川をまたぐ水管橋

水路はトンネルが多く難工事の連続である

百五十億の高所の田畠へも

今年度で、全体の青写真

をつくり、四十五年から工

事を着手。工費は、県営二

十四億円、團体営二十億円

五十一年度に完成の予定。

たよっていた橋

完成のあかつきには、いまま

で溜池や天水に

惠に浴し、水キ

キンに悩むこと

もなくなります

水路は、そのほとんどが、合開発事業の一環として昭和三十九年十一月から事業を開始。吉野川、紀の川筋に大迫、津風呂、山田の三つのダム、それに十津川に猿谷ダムをつくり、本邦最多雨地帯である大台ヶ原野に新設。橋本市から和歌

の水をたくわえ、発電をするとともに農業用水として有効に使うため、延長三十キロの幹線用水路を紀伊平

田はため池と天水に依存するしかありませんでした。

この四十割の耕地に紀の

川の水をつくるおすと、これが

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の果樹園や水

路は、そのほとんどが、

合開発事業の一環として

昭和三十九年十一月から事

業を開始。吉野川、紀の川

筋に大迫、津風呂、山田の

三つのダム、それに十津川

に猿谷ダムをつくり、本邦

最多雨地帯である大台ヶ原

野に新設。橋本市から和歌

の水をたくわえ、発電をす

るとともに農業用水として

有効に使うため、延長三十

キロの幹線用水路を紀伊平

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の耕地に紀の

川の水をつくるおすと、これが

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の果樹園や水

路は、そのほとんどが、

合開発事業の一環として

昭和三十九年十一月から事

業を開始。吉野川、紀の川

筋に大迫、津風呂、山田の

三つのダム、それに十津川

に猿谷ダムをつくり、本邦

最多雨地帯である大台ヶ原

野に新設。橋本市から和歌

の水をたくわえ、発電をす

るとともに農業用水として

有効に使うため、延長三十

キロの幹線用水路を紀伊平

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の耕地に紀の

川の水をつくるおすと、これが

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の果樹園や水

路は、そのほとんどが、

合開発事業の一環として

昭和三十九年十一月から事

業を開始。吉野川、紀の川

筋に大迫、津風呂、山田の

三つのダム、それに十津川

に猿谷ダムをつくり、本邦

最多雨地帯である大台ヶ原

野に新設。橋本市から和歌

の水をたくわえ、発電をす

るとともに農業用水として

有効に使うため、延長三十

キロの幹線用水路を紀伊平

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の耕地に紀の

川の水をつくるおすと、これが

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の果樹園や水

路は、そのほとんどが、

合開発事業の一環として

昭和三十九年十一月から事

業を開始。吉野川、紀の川

筋に大迫、津風呂、山田の

三つのダム、それに十津川

に猿谷ダムをつくり、本邦

最多雨地帯である大台ヶ原

野に新設。橋本市から和歌

の水をたくわえ、発電をす

るとともに農業用水として

有効に使うため、延長三十

キロの幹線用水路を紀伊平

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の耕地に紀の

川の水をつくるおすと、これが

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の果樹園や水

路は、そのほとんどが、

合開発事業の一環として

昭和三十九年十一月から事

業を開始。吉野川、紀の川

筋に大迫、津風呂、山田の

三つのダム、それに十津川

に猿谷ダムをつくり、本邦

最多雨地帯である大台ヶ原

野に新設。橋本市から和歌

の水をたくわえ、発電をす

るとともに農業用水として

有効に使うため、延長三十

キロの幹線用水路を紀伊平

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の耕地に紀の

川の水をつくるおすと、これが

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の果樹園や水

路は、そのほとんどが、

合開発事業の一環として

昭和三十九年十一月から事

業を開始。吉野川、紀の川

筋に大迫、津風呂、山田の

三つのダム、それに十津川

に猿谷ダムをつくり、本邦

最多雨地帯である大台ヶ原

野に新設。橋本市から和歌

の水をたくわえ、発電をす

るとともに農業用水として

有効に使うため、延長三十

キロの幹線用水路を紀伊平

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の耕地に紀の

川の水をつくるおすと、これが

田はため池と天水に依存す

るしかありませんでした。

この四十割の果樹園や水

路は、そのほとんどが、

合開発事業の一環として

昭和三十九年十一月から事

業を開始。吉野川、紀の川

筋に大迫、津風呂、山田の

三つのダム、それに十津川

に猿谷ダムをつくり、本邦

最多雨地帯である大台ヶ原

野に新設。橋本市から和歌

の水をたくわえ、発電をす

るとともに農業用水として

有効に使うため、延長三十

キロの幹線用水路を紀伊平

田はため池と天水に依存す

おまかせ

川本文昭



# 鉄筋の全館完成

## 県立医大紀北分院の設備充実

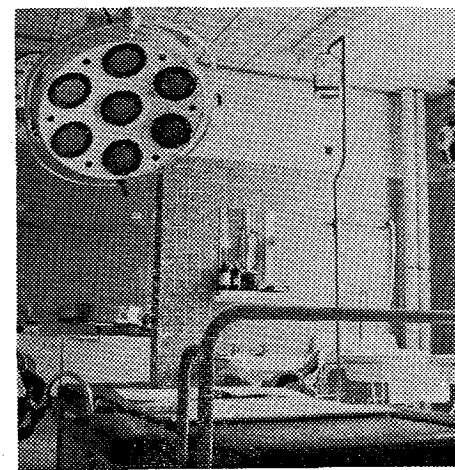
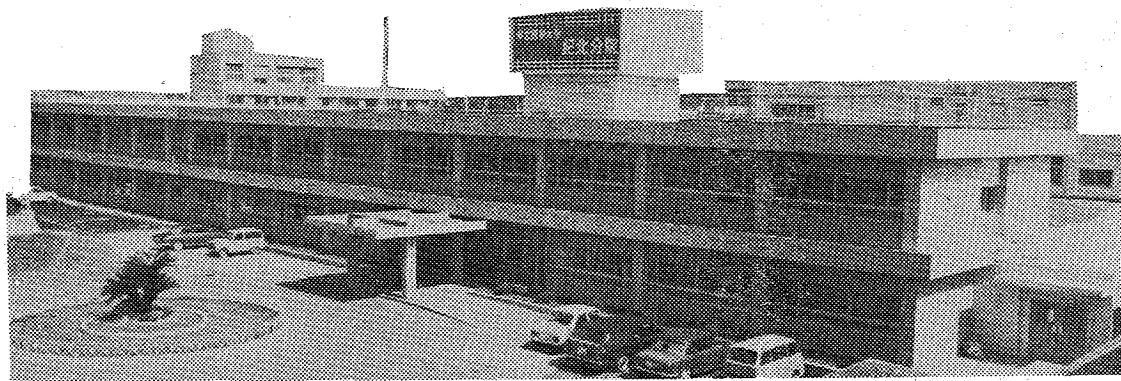
県立医大紀北分院（宮野義美分院長・伊都郡かつらぎ町妙寺）は、このほど増改築工事を終わり、諸施設を一新しました。

同院は、昭和十三年、伊都郡内の組合立てで発足、その後、昭和三十年に県が買収。県立医大の付属病院になりましたが、建物は発足当時の木造で老朽化が激しく、『全館を鉄筋に』と工事をすすめていましたが、

さる四月二十六日に完成したものです。また、医療諸施設も充実。おもなもので大手術のあとや、重傷患者を回復させる回復室、出産諸施設（分娩室・陳痛室・未熟児室・面会室・酸素室、県下でも数少ないオートグレープ（手術機械の消毒機）、それに、大学本来の機能を発揮できるよつな研究室、中央検査室、中央病歴室などです。また、看

護婦を養成する准看護婦学校の教室、実習室を増改築しました。

西昌之事務長は「将来は近辺の開業医や病院からたどりたる『大学の付属病院』という本来の姿にして行きたい。また交通事故がふえており救急医療センターにすることを努力しています」



陳痛室・分娩室など  
出産諸施設も完備されました

高野山で深鳥会

## 高野山で深鳥会

愛鳥週間中の五月十一日、県立高野山奥の院で開かれました。

この日、愛鳥家で有名な高野山の高窓院副住職の斎藤さんの招待で、県立盲学校の生徒たち三十一人が参加

前四時半に起床、小雨の降る中を高野山小六年生に手を引かれ、京阪神から参加した愛鳥家四十人や、海南市巽中野鳥クラブ員八人らと一緒に、奥の院裏山までの約

夜明け前の午

三十一人が参加

学校の生徒たち

三十一人が参加

の野鳥のさえずりを聞き、みんな大喜びでした。

野鳥のさえずりを説明する高野山小の田和校長のことばに

「あれがホオジロ」「いまのがアオバト……」

と、野鳥のさえずりを説明する高野山小の田和校長のことばに

「たくましく鍛えよう」を予定しております。



楽しそうに受講するおかあさんたち



## 趣味と実益の勉強

### 十二校で高校開放講座

校名	講座内容	期間
橋本	経営分析(火・木・土)	7~8月末
桐蔭	世界の文化(月・水・金)	7~8月末
星林	地球の内外を探る	7~12月末
海南	郷土史・郷土産業、その他	7~8月
吉備	新しい農村の家庭生活	7~9月
南部	農業技術の理論と実際	7~9月
田工	日常の科学知識(計算尺)	8~9月
新商	商業簿記	9~11月
箕島	商業簿記、事務機械	7~8月
貴和	保育に関する諸問題	8~10月
那賀	豊かな村づくり(農業技術・家庭科教室)	8~10月
日高	市民の生物学・ハスと人間生活	10~2月・土 13~30~3~30

受講人員50人程度、対象は、一般成人(ただし、吉備一婦人、貴和一母親、那賀一青年、婦人のみ)

## ★警察官募集★

- 採用予定人員=20人
- 受験資格=学歴不問昭和17年4月2日~昭和26年4月1日まで生まれた男子
- 試験日・場所=6月22日(日)和歌山市・田辺市・新宮市
- 受け付け=6月17日(火)まで
- 詳細は県人事委員会事務局・県警本部警務課またはよりの警察署へ

### 作品紹介

おばあさんこちらです

海南市黒江一丁目〇二二

二堀明(32)公務員

老人クラブにでも出席す

るのだろうか、ツエをつい

た老人が、会場がわからず

にまごついていた。たまた

ま通りかかった婦人が、手

をひいて案内する姿にみと

れ、思わず、シャツターを

きました。

県が提唱する「親切にし

よ」には、遠来の人々へ

の親切な態度・老人に席を

ゆずる若人隣近所の助け合

いの風景など、数多くのイ

メージがありますが、なか

なか、そうしたシャツター

チャンスには恵まれないも

のです。

この写真は、そつた一

面を單的に表現したものと

して、登載させていただき

ました。

なお、七月のテーマは、

「たくましく鍛えよう」を

予定しております。

この写真は、そつた一

面を單的に表現したものと

して、登載させていただき

ました。

この写真は、そつた一

面を單的に表現したものと

